

令和8年度年間指導計画

教科	科目	単位数	学年	集団
芸術	美術 I	2	1年	普通科・理数科

使用教科書	副教材等
高校生の美術1(日本文教出版)	なし

1 科目の目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。
② 思考・判断・表現	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

3 評価方法

ア 作品の内容	イ 制作過程	※アからエを観点別に見取ったものを総合して評価する。
ウ 振り返りシート等への記述内容	エ 取組みの観察	

4 学習計画

月	題材	領域	項目	題材の学習目標	教材	評価の観点		
						①	②	③
4	ものを見て描くとは？ ～様々な素描を通して～	表現	絵画	・観察の重要性を理解し、対象を的確に捉えた表現ができる。 ・画材の特性を生かした表現ができる。	風景スケッチ 細密デッサン 人物クロッキー 石膏デッサン	○		○
			鑑賞	・作者の思いや表現の意図、工夫を感じ取り、言葉で表すことができる。	生徒作品		○	
5	鑄造技法を用いた 立体作品を作ろう	表現	彫刻	・鑄造制作のプロセスを理解し、イメージに合った作品を作り出すことができる。 ・使用する材料の特性を理解し、用具を正しく使って制作することができる。	水粘土 焼石膏 など	○		○
			鑑賞	・作者の思いや表現の意図、工夫を感じ取り、言葉で表すことができる。	生徒作品		○	
6	アートって何？ ～近代から現代まで～	鑑賞	・印象派から現代アートまでの流れを理解し、多様な表現や価値観の違いを自分なりの見方・感じ方で整理し、言葉で表すことができる。	参考作品			○	
7	色彩基礎 ～色の三原色って 本当に赤青黄？～	表現	デザイン	・色の三原色や三属性、対比や同化など、色彩に関する基礎知識を正しく理解できる。 ・三原色のみでイメージ通りの色が作れるようになる。	配色カード 色相環	○		
8	デザインって何？ ～平面構成を通して～	表現	デザイン	・デザインと絵画との違いを理解し、客観的視点で構想を練り、適切なデザイン表現ができる。 ・色彩に関する基礎知識を活用し、効果的な配色計画ができる。	アクリルガッシュ		○	○
			鑑賞	・作品に込められた意図や工夫を感じ取り、作品に対する客観的な批評ができる。	生徒作品		○	
9	技法研究 ～絵具の性質を理解する～	表現	絵画	・アクリルガッシュとポスターカラーの性質の違いを理解し、その違いを利用した表現技法で創意工夫のある作品を作り出すことができる。	アクリルガッシュ ポスターカラー	○		○
10	油彩画制作 ～オリジナル作品を作ろう～	表現	絵画	・油絵の具の特性を理解し、技法を工夫しながらイメージに合った絵画表現ができる。	油絵具	○	○	○
			鑑賞	・日本及び諸外国の絵画作品(古典～近現代)を鑑賞し、その技法や魅力に迫り、見方や感じ方を深めることができる。	参考作品		○	